

令和2年度入学 一般選抜前期日程 外国語(英語) 講評

第1問

【出題のねらい】

単語, 前置詞, 構文, 文法の理解をみることおよび大意を理解する力をみることをねらった。

【講評】

全体的に5割程度の正答率だった。説明的文章を読む際は、俯瞰的に読む必要がある。

問1

⑦の単語の問題(it connects these dots 「点と点を線でつなぐ」)と⑧の強調の副詞の問題(way more)に間違いが目立った。⑦の問題は、日本語での似た表現があるため、英語もそうであるという発想で考えてほしい。

問2

白紙解答がほとんどなかったことから、受験者にとって難易度はそれほど高くない、解きやすい設問だったと思われる。しかし、英文の構成に対する理解力や簡潔に理由を述べる日本語力がやや不足しているものが目立った。

問3

問題文に「適切な表現を本文中から抜き出して書きなさい」とあるのに、別の英語表現で言い換えている解答が多数みられた。解答を書く前に、問題文を注意して読んでほしい。また、スペルミスも多少みられた。

問4

cave の意味を「地層, 高原, 谷, 墓, 崖」や「曲がった」という意味に捉えている誤答や, left を「残された」という意味ではなく「離れる, 去る」などとする誤答が散見された。また, 「もし残された骨などがデニソバ人のものであるならば」という仮定表現が含まれていない解答も多かった。

問5

半数以上の受験者が正解していた。高地(altitude)を「高い水準の生活, 高い気温, 高い生命力」などと間違って訳している解答が多かった。また, 「低酸素の環境で生きられる」という

意味の英文を、「低酸素の細胞」などと訳している解答も散見された。

第2問

【出題のねらい】

話の展開を把握する力をみる問題である。本文の内容と一致するか否か、細かな情報を読み取る必要がある。

【講評】

全体的には4割程度の正答率だった。

第3問

【出題のねらい】

会話での英語表現の幅広い知識と、それを正しく使用できるかをみることをねらった。文脈に合った自然な表現で会話文を作れるかどうかの評価のポイントとなる。

【講評】

全体的には2割程度の正答率であった。本問題は、買い物における、特に商品の返品や交換に関する適切な英語表現を理解しているかをみる問題である。商品の返品 **returning** と交換 **exchanging** に関して理解している必要がある。また、第3問のねらいは文脈に沿った表現を作れるかどうかであり、前後の文をきちんと読み、その関係から適切な文を作る必要がある。

第4問

【出題のねらい】

場面に応じた日常会話表現の理解を問う問題である。多様な場面の広範な話題に適切な表現で対応する力をみることをねらった。

【講評】

本問題は、会話文を読み、正しい状況設定を想像することができれば、正しい解答を導き出すことができる。日頃から多くの会話文を音読する習慣を持つことが望ましい。

第5問

【出題のねらい】

本問題は、提示されている条件に従い、題目に関する自身の意見について、自身の立場を明らかにした上で、述べることができるかをみることをねらった。

【講評】

3 割程度の正答率だった。自身の立場を明らかにしているものの、その理由や根拠を示していない解答が多かった。最低 5 文という指示であったためか、最低限の文だけで論拠に乏しい記述の解答も多くみられた。また、基本的スペルミス、複数形、比較表現、接続詞、主語動詞の一致のミスが散見された。解答する際、スペルミスなどの基本事項の確認をすることが望まれる。